

WEB同時開催

公開講座「私が私であるために」

見捨てられる ＜いのち＞を考える —いのちへの問い いのちからの問い—

2020年7月、ALS(筋萎縮性側索硬化症)の女性患者に薬物を投与したとして、ふたりの医師が嘱託殺人の容疑で逮捕された。同じ年、コロナ禍で医療が逼迫するなか、人工呼吸器をどの患者に優先して使うべきかの議論は紛糾。医療がひとの生命を縮めうるという事実、私たちは直面せざるを得なくなった。

(『見捨てられるいのち』を考える 京都ALS嘱託殺人と人工呼吸器トリアージから』
編著：安藤泰至、島蘭進 発行：晶文社 より)

【講義】 あんどうやすのり 安藤泰至 氏
〔鳥取大学医学部准教授(生命倫理)〕



【対談】 安藤泰至 氏 × さの あきひろ 佐野明弘 氏
〔同朋会館教導、真宗大谷派僧侶〕



この学習会は、第43回北陸連区差別問題研修会(2022年5月26日開催)に繋がる連続学習会です。講師に安藤泰至氏をお招きし、生きるべきひと／死んでいいひとの選別が始まっている社会についてご講義をいただきます。その後、佐野明弘氏との対談にて、いのちへの問い いのちからの問いをお聞きしたいと考えています。差別問題の当事者は私自身であることを見つめなおし、次世代のいのちに向けて今喫緊に考えなければならないことを学びます。

2022. **3.9** (水)

開会 **13:30** / 閉会 **16:30**

会場：金沢東別院 真宗会館1Fホール

金沢市安江町15-52

※WEB同時開催 閲覧方法を裏面に記載しています

日程

13:00	受付
13:30	開会・講義・対談
15:35	休憩
15:50	質疑応答
16:30	閉会

参加費無料 (真宗会館運営費として200円のご懇志をお願いしています。受付にていただきます)

主催 真宗大谷派 金沢教区解放運動推進委員会

【お問合せ】 金沢教務所 TEL 076-265-5191(星川)

● 講 師 紹 介 ●

安藤泰至(あんどうやすのり)

1961年生まれ。京都大学大学院文学研究科(宗教学)博士後期課程2年修了。現在、鳥取大学医学部保健学科准教授、日本学術会議連携会員。専門は宗教学・生命倫理・死生学。

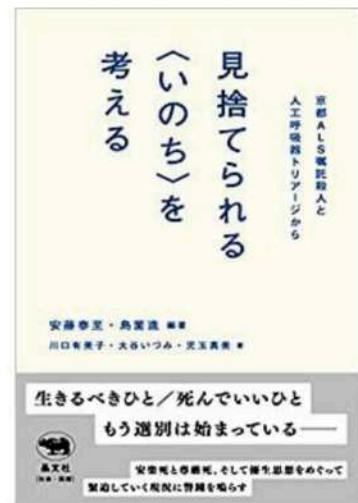
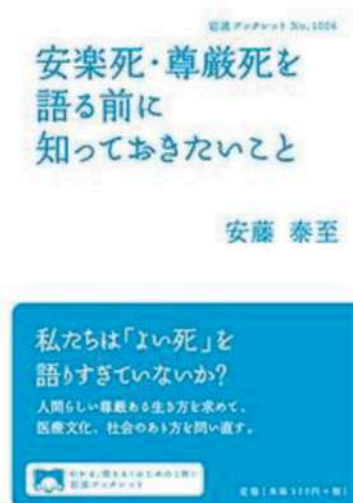
著書に『「いのちの思想」を掘り起こす』(編著、岩波書店)、『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』(岩波ブックレット)、『見捨てられる〈いのち〉を考える 京都 ALS 囑託殺人と人工呼吸器トリアージから』(編著、晶文社)など。



いのちへの問い／いのちからの問い

安藤氏は、既存の生命倫理の言説を対象として、批判的研究を長年おこなっています。「生命倫理」という言葉を聞くと出生前診断や選別の中絶、安楽死や尊厳死、臓器移植など、個別のテーマを想起しがちですが、人の生と死をめぐる問題は、すべて生命倫理の課題と言っても過言ではありません。人を生命倫理の問いに向かわせるものがあります。それは「いのちへの問い／いのちからの問い」と言ってよいでしょう。しかし生命倫理学が発達し、制度化され、緻密になっていくにつれ、それが段々と失われてきています。「生とは何か」「死とは何か」といった根源的な問いが、問わなくてよいものとして見過ごされてしまうのです。

『同朋新聞』2019.1月号



ライブ配信
閲覧方法

以下の方法でアクセスしてください

- ① QRコードを読み取る
- ② 「おやまねっと」で検索して、金沢別院HPにアクセスする

おやまねっと

検索

